

2026年度 政治外交史Ⅱ 講義レジュメ

序 講義ガイダンス…2

第1章 大日本帝国の解体と再編…14

第2章 「軽武装・通商立国」路線の定着…30

第3章 高度成長期の内政と外交…39

第4章 安定成長期の内政と外交…52

第5章 "*Japan as No.1*" の時代…79

第6章 米ソ冷戦と55年体制の終焉…94

第7章 「政治改革」の時代…113

結 「政治外交史」を学ぶ意味

※ 本科目の担当者は、旧漢字（いはゆる『康熙字典体』）と旧仮名遣（歴史的仮名遣）の使用者です。レジュメやウェブサイトもこれらで記述しますが、他人に強制はしません。みなさんはメールやレポートを「常用漢字体・現代仮名づかい」で書いて大丈夫です。



序 講義ガイダンス：講義の方法・内容・目的

1. 自己紹介

- ◇ 氏 名 伊藤 信哉^{しんや}→経歴などは <https://sito.jp/profile> を参照
- ◇ メールアドレス sito@matsudai.org
 - ※ 私にメールを送るときは、事前に下記のサイトを一読してください。
「大学教員へのメールの書き方」(京都女子大学江口聡先生のページ)
<https://yonosuke.net/eguchi/archives/71>
「メールを書くときはここに注意」(慶応義塾大学松岡和美先生のページ)
<https://user.keio.ac.jp/~matsuoka/maillsample.htm>
- ◇ 研究室 記念館(図書館)5階南側
- ◇ オフィスアワー(事前予約制) 木曜2限(10:15—11:45)
- ◇ 講義用ウェブサイト(更新情報) <https://sito.jp/sg>

2. みなさんが最初にすべきこと

- ① PDF ファイルを編集する専用ソフト(Adobe Acrobat Reader など)をパソコンにインストールしたうえで「既定のアプリ」に設定してください。→別紙A
 - ※ 問合せ先：松大生協のPCサポートか、大学の情報センターまでノートパソコンを持参する
- ② 「受講生専用ページ」に登録し、パスワードを取得してください。→別紙B
 - ※ 問合せ先：伊藤(sito@matsudai.org)までメールで連絡する
- ③ 「受講生専用ページ」に平常点を公開します。そのさい「受講番号」を使ふので、自分の受講番号を「計算」してください→別紙C
 - ※ 別紙Cのなかに「X」といふ記号が出てきますが、この科目においてはX=383とします。
 - ※ 問合せ先：伊藤(sito@matsudai.org)までメールで連絡する
- ④ **メイリングリスト(SG02ML)を開設し、講義に関する連絡はこちらで行ひます。**
その多くに、講義の進行や単位の認定にもかかるとは重要な内容が含まれますので、**かならず目を通してください。**

3. 講義案内

(1)講義の形式：オンデマンド技術を活用した反転授業

※ 反転授業(反転学習)とは「授業で学習し、自宅で復習する」という流れを反転させ、「自宅で予習し、授業でさらに学習する」という流れにするものです(参考：<https://www.knowledgewing.com/kcc/share/method/single39.html>)。

- ①教員は次ページの「予習映像公開」の日までに、映像を録画し公開します。受講生のみなさんは、都合のよい時間にそちらを視聴してください。
 - ◇ 講義ビデオは1回90分から120分程度で、スマホやパソコンで視聴できます。
 - ◇ 視聴にはGoogleに松大アカウントでログインする必要があります。また履修登録をした学生以外のアカウントでは見られません。→別紙D
 - ◇ 映像を公開したあと、私からみなさんの学内メールに[SG02ML: (数字)]から始る件名のメールを送ります。そこに書かれたURLにアクセスしてください。
 - ◇ **ビデオのなかで「暗証番号」を(複数回)言ひますので、それらを洩れなく書き留めてください。それら(を合計した数)が、あとで必要になります。**

- ②予習映像を視聴する前に「受講生専用ページ」から「配布物」と「板書データ」をダウンロードし、それらを参照しながら視聴してください。
 - ◇ 「配布物」は講義で使用するプリント類(書き込みをする前のもの)です。
 - ◇ 「板書データ」は、講義のなかで教員がいろいろ書き込んだあとのプリントと、板書代りのメモです。両者を見比べ、必要なものを印刷してください。
 - ◇ 配布物に含まれる講義レジュメは、同じ受講生専用ページの「3. 講義レジュメ」に掲載されてゐるものとは、漢字の字体だけが異なります。

- ③ビデオを視聴するのが難しい学生は「受講生専用ページ」から「予習音声」をダウンロードしてください。
 - ◇ 内容は「予習映像」から、音声だけ抜き出したものです。
 - ◇ 音声のみのためファイルサイズが軽くなつてます(100MB前後)。「板書データ」を見ながらそちらを聴けば、講義は概ね理解できるはずです。

【講義ガイダンス】		4/16(木)8:30—	
回数	豫習映像公開	レポート提出期限	質疑応答日
1	4/1(水)	4/16(木)17:30	4/17(金)14:15—
2		4/19(日)17:30	4/23(木)8:30—
3		4/21(火)17:30	
4		4/22(水)17:30	4/24(金)14:15—
5		4/28(火)17:30	4/30(木)8:30—
6		4/29(水)17:30	5/1(金)14:15—
7		5/5(火)17:30	5/7(木)8:30—
8	4/15(水)	5/6(水)17:30	5/8(金)14:15—
9	4/21(火)	5/12(火)17:30	5/14(木)8:30—
10	4/22(水)	5/13(水)17:30	5/15(金)14:15—
11	4/28(火)	5/19(火)17:30	5/21(木)8:30—
12	4/29(水)	5/20(水)17:30	5/22(金)14:15—
13	5/5(火)	5/26(火)17:30	5/28(木)8:30—
14	5/6(水)	5/27(水)17:30	5/29(金)14:15—
15	5/12(火)	6/2(火)17:30	6/4(木)8:30—
回数	豫習映像公開	レポート提出期限	質疑応答日
16	5/13(水)	6/3(水)17:30	6/5(金)14:15—
17	5/19(火)	6/9(火)17:30	6/11(木)8:30—
18	5/20(水)	6/10(水)17:30	6/12(金)14:15—
19	5/26(火)	6/16(火)17:30	6/18(木)8:30—
20	5/27(水)	6/17(水)17:30	6/19(金)14:15—
21	6/2(火)	6/23(火)17:30	6/25(木)8:30—
22	6/3(水)	6/24(水)17:30	6/26(金)14:15—
23	6/9(火)	6/30(火)17:30	7/2(木)8:30—
24	6/10(水)	7/1(水)17:30	7/3(金)14:15—
25	6/16(火)	7/7(火)17:30	7/9(木)8:30—
26	6/17(水)	7/8(水)17:30	7/10(金)14:15—
27	6/23(火)	7/14(火)17:30	7/16(木)8:30—
28	6/24(水)	7/15(水)17:30	7/17(金)14:15—
29	6/30(火)	7/21(火)17:30	7/23(木)8:30—
30	7/1(水)	7/30(木)17:30	7/24(金)14:15—

④ 予習映像を視聴し終つたら「受講生専用ページ」から「確認テスト」と「課題レポート」をダウンロードしてください。

◇ **確認テスト**は、講義内容の理解度をチェックするものです。文章が「誤り」と思ふときは「どこがどう間違つてゐるか」まで指摘できるやうにしてください。

- ◇ 解答は Google Form で送ってください (URL は確認テストの最後にあります)。
- ◇ **かならず松大アカウントでログインして解答してください (他のアカウントで回答した場合は、提出された課題レポートを受理しません)。**
- ◇ Google Form に解答し [送信] ボタンを押すと、画面に「**暗証番号**」が出ます。この数字もレポートで使ひますので、必ずメモしてください。
 - ※ 確認テストは 1 回しか解答できませんが、もういちどアクセスすれば、番号だけは再表示されます。

- ◇ **課題レポート**は、予習映像に対する質問・感想 (アンケート) とレポートです。この科目では、**課題レポートに基いて平常点を算出**します。
- ◇ 課題レポートは PDF 用の専用ソフトウェア (Acrobat Reader など) で作成してください。**Web ブラウザ (Chrome や Edge) を使用すると、入力や保存がうまくできません** (別紙 A と B を参照)。
- ◇ 1. の「講義に対する質問や感想、提案」は、自由に記述してください。否定的な内容でも成績に影響しません。書くことがなければ空欄のままにしてください。
- ◇ 2. の「**暗証番号**」は「**ビデオの中で (複数回) 言つたものの合計**」と「**確認テストの最後に表示されたもの**」を足した数となります。**これが正しくないと、レポートは受理できません (次の論述問題に解答しても 0 点となります)。**
- ◇ 3. の論述問題の解答は任意ですが 800 字以上 (概ね点線まで) 書いてください。
 - ※ レポートの本文を <https://sito.jp/home/education/format.docx> からダウンロードした原稿用紙に張りつけて、2 枚目の最終行まで届いたとき「800 字」と判断します。

- ⑤ 「課題レポート」は、松大 UNIPA から以下の要領で提出してください。
 - ◇ 「クラスプロファイル」→「政治外交史II」→「課題提出」と進んでください。
 - ◇ 暗証番号のみ解答した場合：**第 X 回課題レポート (暗証番号のみ)** から、論述問題にも解答した場合：**第 X 回課題レポート (論述解答+暗証番号)** から、**記入ずみの PDF ファイルを提出**してください。
 - ◇ ファイル名は変更しないでください (UNIPA の方で自動的に処理されます)。
 - ◇ 正しい場所に提出しないと無効となります。とくに課題レポートの「回数」を間違へないやうに注意してください (誤つた場合、締切より前なら差替へ／再提出が可能です。UNIPA のマニュアルを参照しても分らなければ、教務課に相談してください)。

⑥教員は、提出されたレポートを整理して「課題レポートの受理状況」を更新します。

◇ 以下のレポートは受理しません。

ア) レポートに学籍番号や氏名が正しく書かれていない（無記名である）

イ) ひらがなやローマ字だけで書かれてある（漢字が使はれていない）

ウ) 暗証番号が間違っている

エ) 論述の解答に他人の文章を剽窃したものや、生成 AI (ChatGPT など) が作成した文章を「丸写し」したもの→**不正行為とみなし直ちに F 判定**

オ) 松大アカウント以外のメアドで「確認テスト」に解答した学生のレポート

◇ 以下のレポートは受理しますが、論述部分の点数を 0 点とします。

カ) 論述の字数が足りない（800 字未満）

キ) 論述の内容が課題とは無関係である

ク) 異なる回のレポート用紙を使用している（異なる回の課題に解答している）

ケ) 講義の進捗に伴い追加される「新たな採点基準」を満さないもの

例：段落わけや行頭の 1 字下げができていない（第 4 回レポートより適用）

◇ その他、教員が不適切と判断したものは不受理または減点することがあります。

◇ これらの条件については、教員側が気づかず、いちど正式に受理したものでも、発覚しだい受理を取消するか、論述部分の点数を 0 点とします。その場合、当該の学生には（学内メールで）個別に連絡します。

◇ エ) については「写させた学生」も F 判定とします（どちらが写させたのか、教員には判断できないため）。また書籍やインターネットからの（引用のルールを無視した）コピーも「他人の文章の剽窃」に当たります。

◇ 更新した受理状況は、「受講生専用ページ」の「課題レポートの受理状況」で公開します。同時に SG02ML にも情報を流しますので、受講生専用ページにアクセスし、自分のレポートが正しく受理されているかを確認してください。

◇ レポートを登録したにも拘らず、受理状況に記載がない／点数が違ふ場合、メールで問合せてください。期限は、受理状況の更新から 3 日後の 17:30（必着）とします（例：土曜の 14:30 に更新された場合、翌週火曜の 17:30 まで）

◇ 問合せの結果、訂正や再提出を認める場合もありますので、不審な点があるときは、かならず連絡をください。上記の期限までに問合せがなければ、その時点で確定し、以後は修正できません。

- ⑦「質疑応答日」は木曜1限と金曜4限です。以下の3つの方法でアクセスできます。ただし初回の講義ガイダンス（4月16日）のみ、対面による受講に限定します。また第16回（6月5日）も、対面を原則とします。
- ◇ 対面：体調に不安があるときは、この方式は選択しないでください。
 - ◇ オンライン受講：Youtube で、上記の対面講義をライブ配信します。URL（毎回変わります）は事前に SG02ML で告知します。時間になったら松大アカウントでアクセスしてください。
 - ◇ オンデマンド受講：上記のライブ配信は、すぐ Google Drive にアップロードします（URL は別途告知します）。なんらかの事情で、リアルタイムで受講できなかつた人は、あとでそちらを見てください。
 - ◇ どの方式を選んでも、成績には影響しません。いずれの方法で受講するかは、みなさんの判断に任せます。対面以外をえらぶ場合も、とくに連絡は要りません。
 - ◇ 質疑応答では、皆さんからの質問や感想などに答へるほか、確認テストについて補足説明をし、課題レポートのうち何枚かを選んで添削します。
 - ◇ 質疑応答の内容について、疑問や意見があるときは、後述の LINE チャットにリアルタイムで投稿するか、つぎに提出する「課題レポート」に書いてください。
 - ◇ 対面またはオンラインで受講するひとは、あらかじめ LINE のオープンチャット「政治外交史2 質疑応答チャット」に登録してください（登録は任意です）。質問や意見、あるいは通信障害（音声が届かないなど）の連絡は、こちらに投稿してください。ただし教員が反応するとはかぎりません（講義自体がとても忙しいので）。
 - ◇ 登録はレジユメの表紙に印刷された QR コードでしてください。そのさいニックネームは「6桁の受講番号」にしてください。また参加コードを求められますので、半角数字で「4253」と入れてください。
 - ◇ 質疑応答を休んでも成績には影響しません（そもそも出席自体をとりません）。しかし、質疑応答の録画を後から見てゐることを前提に、講義は進めます。

(2)休講と補講

休講・補講とも予定していません。急な事情で質疑応答を休むときは、松大 UNIPA / ウェブサイトの「更新情報」欄 / SG02ML を通じて告知します。

(3)過去の受講者数

2024年度は53名、25年度は81名が履修しました。

(4)講義の内容

この講義は、以下の3つの内容からなります。

- ①近現代の日本の政治外交の歴史のうち、後半部分(1942—1994年)の概観
- ②日々発生する、日本の政治や外交に関する問題(時事問題)の分析と評価
- ③自らの見解を、論理的で平明な文章にまとめる力の涵養

(5)使用する教材

- ①については、教員がレジюмеを作成します。レジюмеは「受講生専用ページ」で公開するほか、新字体で印刷したものを教務課で配布します。
- ②については、もつぱら口頭で説明します。予習映像の収録から、みなさんが視聴するまでの時間差がありますので、その部分は各自で埋合せてください。
- ③レポート作成の教科書として下記を使用します。購入して手元に置き、熟読してください(社会人になつてからも役に立つはずです)。

倉島保美『論理が伝わる世界標準の「書く技術」:「パラグラフ・ライティング」入門』講談社ブルーバックス、2012年。(ISBN 9784062577939:1078円)。

(6)講義の到達目標

次の2点を講義の到達目標とし、成績評価もこれによります。

- ①近現代の日本の政治外交史に関する基礎知識を習得すること。
- ②それらに対する見解を、論理的かつ平明な文章で説明できるやうになること。

4. 成績評価の方法

(1)平常点 (56点満点)

- ◇ 課題レポート (全28回) が1回受理されるごとに1—2点を付与します。
 - ・正しい暗証番号が記入されていれば1点を与えます。
 - ・前項に加えて、論述問題にも適切に答へていれば、さらに1点を与えます。
- ◇ 論述内容そのものは評価しません。つまり、当初は800字以上書かれ、課題と無関係な内容でなければ、すべて同じ点数(1点)を与えます。また第4回以降、レポートの形式に関する新たな基準が随時追加されますが、論述の内容については、課題と無関係なものでなければ、減点の対象とはしません。
- ◇ 第1回のレポートは「練習問題」とし、点数はつけません。第2回—第29回分のレポート(全28回)の受理状況に対して、平常点をつけます。

(2)試験点 (60点満点)

- ◇ 第30回の課題レポートを「最終レポート」と位置づけ、60点満点で評価します。
- ◇ 内訳は形式点を30点、内容点を30点とし、採点は3点刻みとします。

(3)単位認定の条件と点数調整

- ◇ 単位認定の条件は、平常点が28点以上あることと、第30回目のレポートが受理されることです。
- ◇ ただし論述の解答について「他人の文章を剽窃したと判断されるもの」を一回でも提出した学生は、その時点でF判定とします(異議申立ては認めず)。
- ◇ 平常点と試験点がともに高く、合計100点を超えたときは、最終成績は100点に圧縮されます。この例外を除き、平常点と試験点を合計した数字が、そのまま成績点となります。

5. その他の注意事項

- ①受講生への連絡は「SG02ML を中心とした学内メール」と「教員のウェブサイト（更新情報欄と受講生専用ページ）」を通じて行ひます。そのため SG02ML のメールは必ず読み、指示に従ってください。また、教員のウェブサイトも、週2回はチェックしてください。みなさんがこれらを行つてゐることを前提として講義は進みます。
- ②講義に対する要望や質問は「課題レポートの「感想・質問・提案」欄に書く」「質疑応答に出席して口頭で質問する」「オフィスアワーを利用する」などの方法があります。疑問や意見のある人は、これらのしつみを積極的に活用してください。
- ③大学公式の Moodle は使ひません。UNIPA も課題レポートの提出でのみ使用します（UNIPA の掲示板を使ふ場合も、同じ内容を SG02ML で配信します）。
- ④課題レポートの論述問題は**パラグラフ・ライティングの形式で書いてください**。
 - ◇ その要点は、下記の通りです。
 - a. 総論（結論＋全体のエッセンス）から書く
 - b. パラグラフ（≒段落）単位で書く。総論以外の 1 パラグラフは4—8文（200—400字）で構成し、1パラグラフ＝1トピック（言ひたいことは1つ）とする
 - c. 各パラグラフは「トピック・センテンス（要約文）」→「サポーティング・センテンス（補足文）」→「コンクルーディング・センテンス」の順序で書く
 - d. パラグラフを的確につなぎ、論理展開（アウトライン）を明確にする
 - e. 情報は必ず「重要なもの」「既知のもの」から示す
 - ◇ これらは、法学部の1年生全員が受講した「政治学入門」で説明済みですが、履修してゐない学生（他学部生）にも、あらためて書き方を指導します。
 - ◇ より詳細な書き方を自習するには、先に紹介した教科書を読むか、過去の政治学入門のビデオ（とくに②の方）を見直してください（履修者限定公開です）。

[論述答案とレポートの書き方①](#)

[論述答案とレポートの書き方②](#)

◎「政治外交史I」未受講者に対する補足説明

※以下は「政治外交史I」における第1章（日本政治外交史序説）の第4項（政治外交史を観る上で、とくに注意すべき点）の再説である。

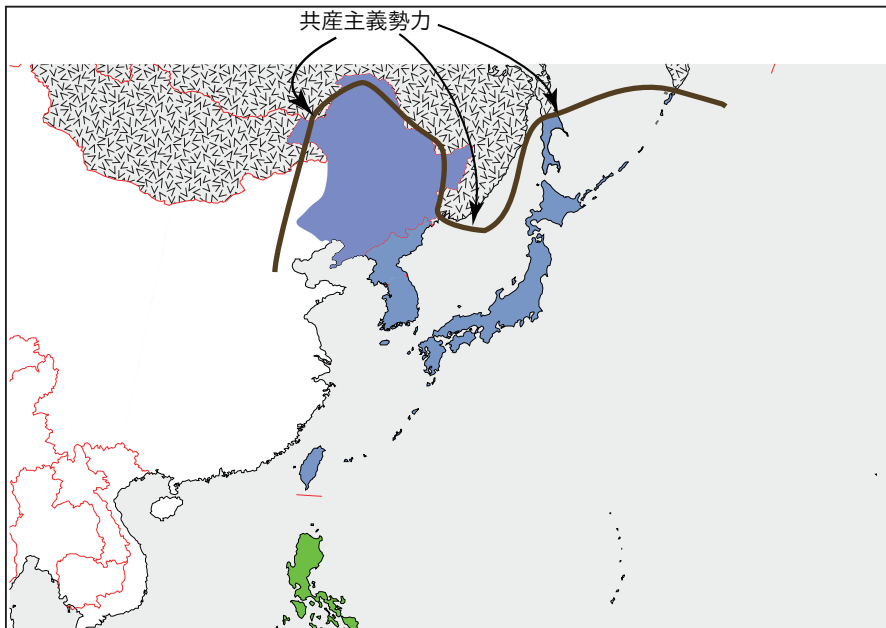
(1)相手の立場にたつて考へよう

◇ 歴史を学ぶのに重要なのは「記憶力」ではなく「想像力」である

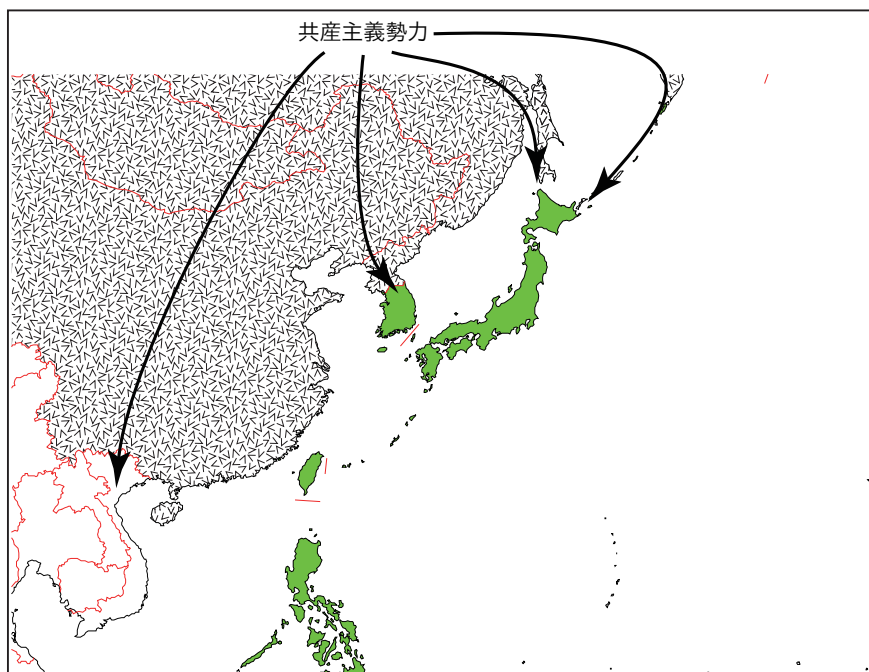
例1：「軍備拡張」に対する日本人と中国人の捉へ方の相違

例2：「昭和の戦争」に関するジョージ・ケナンの指摘

1933年



1951年



- ◇ この講義では、各当事者の立場を、なるべく「公平」に概観する
 =ひとつの事件を、多面的に観察する習慣を、身に付けることをめざす

(2) 4W1H は歴史を学ぶさいの基本。しかしより重要なのは 「もう1つのW」である

- ◇ 4W1H (When / Where / Who / What / How) : 高校までの歴史の勉強
 → 1853年 / 神奈川の浦賀湾に / アメリカのペリー提督が / 大統領の親書を携へて、四隻の蒸気船を引き連れてやつてきた。
- ◇ しかし (それを踏まへたうへで) より重要なのは、もう一つのW (Why) である
 → 「なぜ」ペリーは、四隻の軍艦とともに、浦賀沖に現れたのか?
 → 「なぜ」米国政府は、日本に対して開国を求めたのか?
 → 「なぜ」日本政府 (江戸幕府) は、これに応じたのか?

(3)「善か悪か」を基準に考へるのはやめよう

◇ 歴史上の事件において「悪者」を探すことは、しばしば不毛な結果に終る

1979年 イラン革命：イスラム革命政権（反米政権）の樹立

アメリカにとつての悪者＝イランの新政権（ホメイニ政権）

1980—88年 イラン・イラク戦争：アメリカはイラク（フセイン）を支援

イラン（ホメイニ）＝悪、イラク（フセイン）＝善

1990年 湾岸危機（イラクによるクウェート侵攻）

クウェート（侵略の犠牲者）＝善、イラク政府（フセイン）＝悪

1991年 湾岸戦争：アメリカはクウェートを解放するためにイラクを攻撃

2003年 イラク戦争：アメリカはイラクに進攻しフセイン政権を打倒

フセインとその支持勢力＝悪、抑圧されたイラク国民＝善

その後 反政府勢力（一部のイラク国民）と、駐留米軍が内戦状態となる

反政府勢力＝悪???

◇ 大抵の場合、「当時の人々が現代人より愚かだつた」と考へる根拠はない

→逆もまた同じ

◇ 過去の歴史において「犯人」を探すより「なぜそのやうな行動がとられたか」

を探る方が建設的 →歴史を学ぶ意義のひとつは、そこにある